



イースト新年聖会の集合写真 (2025年1月13日 町田純福音教会)

献身の証し

房総中央キリスト教会 刈込政弘



献身という言葉がどこに当てはまるのかわかりません。いままだ牧師や伝道師になりたいとも思ったことがありませんでした。ただ、成り行きで今があるように思います。

高校二年生のとき、学校の帰りに友人と初めて教会を訪れ、牧師から聖書の神についての話を聞きました。すべてが初めての内容でしたが、その時イエス・キリストを、信じ受け入れました。真理を見つけた喜びで心はいっぱいでした。その時から聖書を読むようになりました。

公立の大学に入りたいと思い、高校を卒業してからも2年間ほど、アルバイトをしながら受験勉強をしていましたが、思うようには行かず諦めることにしました。しかし、定職につく前に、聖書学校に行つて、聖書を体系的に学び、理解を深めたい。それから働いても、長い人生を考えれば、そう影響はないでしょうと考えました。

新しく始まるという、ペンテコス

テ聖書学校で学ばせていただきました。

牧師や宣教師たちの講義を受けているうちに、私も主イエスを伝える者になれたらいいなあ、という思いが起こつたことがあります。そのときの思いがずっと続いています。

聖書学校修了後、聴講にいられた方の誘いで、襖と内装の仕事をするようになり、その後、40年間続けました。また、大佐和キリスト教会で出会ったスイス人の宣教師のお手伝いという立場で、木更津市に家を借り、そこに住みながら、内装の仕事と日曜日の礼拝をするようになりました。しかし、彼は、最初の内しか関わりませんでした。それで、私が続けてきたのです。神が教会の働きに、積極的でない私に、きっかけを作ってくださいたのではないかと思います。

主イエスはいやしや奇跡をもって伝道されました。それにならない、いやしや奇跡、不思議な力でもって、神の存在を証明したいと強く思い、毎日祈り求めています。

アルゼンチン宣教報告

在原 繁

「キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。

キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。」 (ピリピ人への手紙 2 章 6～8 節)

日本諸教会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

赤く染まった夕暮れの過日、私たちの家庭礼拝に、主イエスは静かにお臨みくださいました。「仕える者の姿」「十字架への道」、この二つの「みことば」に私たちは心碎かれ、御前にひざまずく時となりました。私心に生きず、神の備えられた道を従順に生きようと思えます。

アルゼンチンの大多数の国民が貧困下で苦闘しています。特に、「年金生活者」「病気の人」、そして「失業家庭」に苦しみは倍増しています。

日本の皆様よりお捧げいただいた「食糧支援献金」が、貧困に喘ぐ人々に「明日への希望」をもたらしています。3組の牧師夫妻（アラジーノ牧師、カルロス牧師、セイサル牧師）に対しても、年末年始の贈り物として、生活

支援をさせていただきました。

地の果て・日本の聖徒らに覚えられ、祈られていることに、人々は霊的感動を覚えるようです。

グアッタンプー教会のアラジーノ牧師夫妻はコロナ感染以来、貧困と数々の困難に堪え、大工仕事を続けながら、教会を守ってこられました。

モンテカルロ教会のカルロス牧師も農業と自営業（ブロック販売）で貧困の壁を打ち破ってこられ、コロナで打撃を受けたモンテカルロ教会の礼拝は 60 余名にまで回復しています。

ピライ教会のセイサル牧師は左官業を手仕事に、本当によく耐え抜かれました。



ピライ教会セイサル牧師夫妻

2月17日～6月15日、私たちは一時帰国致します。「健康診断と病気治療」「恩師方へのご挨拶」「諸教会における奉仕」を目的としております。パトリシア姉と私たちの孫娘・キエ(喜愛・17歳)も一緒に訪日いたします。熱きご支援に感謝いたします。

～ T P K F 三役の提言～

聖霊が開く変化に

応えられる T P K F へ

書記 上田勇矢



全国のペンテコステ教会グループから代表が集まる日本ペンテコステ協議会の研修会で、宗教法専門の櫻井園郎氏による講義「宗教団体と宗教法人」を受けました。印象深かったのは「教会は宗教法人という枠の中にあるのではなく、教会がその目的（教えを広め、儀式行事を行い、信者を主の弟子とする）を遂行するために、宗教法人が財務などの業務を行う。つまり、主体は法人ではなく、宗教団体（教会）にあります」との言葉でした。

T P K F は宗教団体ですが、法人ではありません。そのため国への報告義務はありません。それでも、適切な会計管理と報告がなされ、T P K F 代表者会議、ちから誌、T P K F 大会の運営、報告が誠実にされてきました。また、その協力関係を通して、各地での災害支援、宣教・開拓協力などグループとしての働きをしています。すで

に T P K F は単なる交わりをこえた、一つの重要なペンテコステ教会グループとして存在しているのです。

創立 75 周年を迎えた今年、T P K F 諸教会も全国的な傾向に倣い、牧師、信徒の高齢化、後継者不足、無教化の波に直面しています。コロナ過前にエドモンド・テオ師（I C A 主任牧師）が代表者会議に同席された際、お話しくださいました。「教会にはライフサイクルがあり、教会が再生するためには、教会が上昇傾向にあるときに、大きな変化を起こす必要があります。（衰退してからはもっと力が必要になるから）例えば、礼拝の時間、スタイル、服装、名称、場所を変える。新しいリーダーを迎え入れる。スタッフを変える。それでもうまくいかない時は主任牧師を変える。」

マルコ 16 章 20 節で、弟子たちは、聖霊の与える変化の中に出ていったとき、主が彼らとともに働かれました。T P K F 諸教会はこれから後、どのような変化を聖霊に導かれるでしょうか。ぜひ、主に大いに期待して一歩踏み出させていただきましょう。

信仰継承

雲井キリスト福音教会 森田繁雄



信仰という言葉、新聖書辞典で引いてみますと「神に対する信頼、そしてそこから当然起こる神のこばに対する信頼を言う」とあります。また継承とは、前代の人の身分・仕事・財産などを受け継ぐこと。「伝統芸能を継承する」とあり、同義語として「相続」という言葉も挙げられています。ですから信仰継承というテーマに対しては、「神に対する」、「神のこばに対する」信頼の相続ということになります。

信仰継承と言うと、とても神聖で耳障りのいい言葉ですが、そこに相続あるいは相続財産という言葉が入ってくると、どろどろした人間臭い話となってくることも生じます。

このことを語ることでできるのは、財産を生前に贈与あるいは手放した人ではないでしょうか。信仰も生前に、イエスをキリストと信じるかとの決断と選択にあります。相続も、持ち主が自分の意志と判断によって、その分け前を伝えることができればまことに結構なことだと思います。

パウロが相続人と信仰の歩みについて書いている箇所があります。ガラテヤ4：1-19ですが、「4:1 つまり、こういうことです。相続人は、全財産の持ち主なのに、子どもであるうちは奴隷と何も変わらず、4:2 父が定めた日までは、後見人や管理人の下にあります。」パウロの説明は明確です。相続人は、全財産所有の権利はあるが成長しないとそれは使うことができない。幼い時に任せると「悪銭身に付かず」になります。その行き着く先は昔も今も同じです。

イエス様もルカ 15：11-13 でそのような事例を話されました。「イエスはまた、こう話された。『ある人に二人の息子がいた。弟のほうが父に、「お父さん、財産のうち私がいただく分を下さい」と言った。それで、父は財産を二人に分けてやった。それから何日もしないうちに、弟息子は、すべてのものをまとめて遠い国に旅立った。そして、そこで放蕩して、財産を湯水のように使ってしまった。』」

パウロも神を知らない者の歩みを奴隷状態と述べています。「4:3 同じように私たちも、子どもであったときには、この世のもろもろの霊の下に奴隷となっていました。

た。4:4 しかし時が満ちて、神はご自分の御子を、女から生まれた者、律法の下にある者として遣わされました。4:5 それは、律法の下にある者を贖い出すためであり、私たちが子としての身分を受け取るためでした。」

信仰の継承のポイントは、子が神のみ前で次のように告白できるように、育むことです。「4:6 そして、あなたがたが子であるので、神は『アバ、父よ』と叫ぶ御子の御霊を、私たちの心に遣わされました。4:7 ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神による相続人です。」

信仰生活には、様々なことがあります。いつでも神のみ前に生活していることを語りましょう。「4:9 しかし、今では神を知っているのに、いや、むしろ神に知られているのに、どうして弱くて貧弱な、もろもろの霊に逆戻りして、もう一度改めて奴隷になりたいと願うのですか。4:11 私は、あなたがたのために労したことが無駄になったのではないかと、あなたがたのことを心配しています。」

パウロもまた、信仰の後退期にある信者に自分のようになるように語りかけています。「4:12 兄弟たち、あなたがたに願います。私もあなたがたのようになったのですから、あなたがたも私のようになってください。あなたがたは私に悪いことを何一つしていません。4:14……私を神の御使いであるかのように、キリスト・イエスであるかのように、受け入れてくれました。4:15 それなのに、あなたがたの幸いは、今どこにあるのですか。私はあなたがたのために証しますが、あなたがたは、できることなら、自分の目をえぐり出して私に与えようとさえたのです。」

熱心であっても、敵対心を持ちやすいものが、子であり、人々です。パウロは、人のうわべの行動でなく、その動機をしっかりと見なさいと告げます。「4:17 あの人はあなたがたに対して熱心ですが、それは善意からではありません。彼らはあなたがたを私から引き離して、自分たちに熱心にならせようとしているのです。」

パウロのこのとりなしの祈りこそが、信仰継承への道行きだと思います。「4:19 私の子どもたち。あなたがたのうちにキリストが形造られるまで、私は再びあなたがたのために産みの苦しみをしています。」

あかし 信仰を持ったきっかけ 神戸フィラデルフィア教会 大久保隆弘



私が中学生の時に友人が、教会で英会話を教えてくれるらしいと誘ってくれました。それが神戸フィラデルフィア教会でした。アメリカ人だと聞いていましたが、あとで確認すると、ノルウェーの方でありました。私は友人と一緒に英会話を教えてもらいました。先生は私たちに聖書の話もしてくださいました。

聖書の話はあまり分らなかったのですが、どうして北欧のノルウェーの方が日本の神戸の地にまで来て聖書の話（神の言葉）、福音を宣べ伝え（伝道）に来てくれたのか不思議でなりません。あとで分かったことですが、聖書に書かれているとおりに全世界に出て行って福音を宣べ伝える使命を授かっておられたのです。

初めは中国宣教へ行きましたが、共産革命のために追い出され、宣教地を日本に変更して来られたとお聞きしました。その先生の名前はアンナ・ヨルゲン先生(女性)でした。先生は私たち5人か6人ぐらいの中学生に対して、たどたどしい日本語で聖書を教えてくれました。一生懸命に聖書のことを教え、宣教する姿を見ながら、少しずつイエス様が自分のために死んでくださったことが理解できるようになりました。

昭和45年(1970年)8月、敦賀の常宮でもたれていたサマーユースキャンプに参加しました。「祈ってほしい方はどうぞ前の方においでください」と招きがあり、他の信徒の方と前に出ました。祈っていただくと涙が流れ、とめどもなくあふれました。聖霊を受けたのでした。神様が恵みとしてくださったのです。感謝いたしました。

その後、日曜学校のお手伝いやその他の奉仕を続けさせていただきました。現在も何とか礼拝に出席し、ミニカフェや祈り会に参加しております。これからも神様と共に歩んでいきます。

神様の守りの中で

秦野クリスチャンセンター 今井愛子



私はクリスチャンの家庭で育ちました。日曜日には教会学校へ通い、毎日神様にお祈りする生活をしていましたが、高校を卒業する頃から教会へ通わなくなりました。

暫くして、私の兄が大学を卒業するとすぐに病気を患いました。両親は熱心に祈りましたが、兄の病気が治ることはありませんでした。私は両親の前で、神様は兄を救ってくれなかった、神など信じない、存在しない、とさえ言いました。その時の落胆し、うつむき、押し黙ったままの両親の姿は今でも脳裏に焼き付いています。

30年ほど過ぎた頃、世の中の様々なニュースを目にする中で、ふと神様や聖書について疑問が湧いてきました。また、ちょうどその頃、仕事に疲れ果て、不安で落ち込む日が増えていました。私はもう一度教会へ行こうと思い、自宅からすぐ近くの教会を見つけ、通い始めました。そして、神様の存在を否定した、このような罪深い私を、神様は決して離さず、深い哀れみと忍耐と愛をもって見守っていてくださったことに気づかされました。それから暫くして洗礼を受けました。

ペテロの手紙第一5:7に「あなたがたの思い煩いをいっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです」と書かれています。

この御言葉のように、神様に一切を委ねると心が安らいでいきます。神様がいつも側で見守っていてくださることに心から感謝する日々です。

伝道者の書3章に「すべてのことには定まった時期があり、天の下のすべての営みに時がある」と書かれていますが、これまでの道のりは神様のご計画であり、必要な通過点であったのだと思います。私に関わってくださった方々のお祈りと神様による導きに感謝します。これからも神様と共に歩んでいきたいと思ひます。

■ 新年聖会開催

〈イースト〉



1月13日の月曜日（祝日）に町田純福音教会にてT P K F イースト新年聖会が持たれました。イーストの各教会の方々が町田に集結して、新年を、そしてイエス・キリストをお祝いする時間を共有することができて感謝でした。オープニングのプレイズ&ワーシップの時間では、ピアノ、ベース、ドラム、ギターにバイオリニスト二人が加わり、1曲目から会場が総立ちで聖霊に満たされ、喜びの賛美が会堂いっぱいに響き渡りました。その後、町田の教会の小川祐司副牧師から御言葉が語られ、「この2025年をリバイバル元年の記念の年にしましょう！」と力強く語られました。春のユースキャンプの紹介や、各教会の交わりなど、盛沢山の充実したプログラムを通して、喜びと希望をそれぞれ各教会に持ち帰ることができました。（町田純福音教会 小川祐司）

■ 教師会で「聴くドラマ聖書」紹介〈FCMF〉



2024年11月5日（火）秋の教師会で、日本G & M文化財団の鈴木歩（あゆむ）兄にお証しと財団の活動紹介をしていただきました（写真右端が鈴木兄）。

G & M財団が提供する無料アプリ「聴くドラマ聖書」は25万ダウンロードを突破しています。聖書を読むだけでなく、150人以上の俳優、声優による音声ドラマとしても聴くことができるアプリです。聖書全巻は118時間＝約5日間で聴くことができます。

また、集まって聖書を聴く「みんなで聖書P R S バイブルクラブ」を展開し、定期的に皆で聖書に触れることを勧めています。さらに、音声化した信仰書を皆で聴く「J S U プッ

ククラブ」もあり、すでに全国400以上の読書会が始まっています。3人以上集まれば始めることができ、初回は全員分の本が無料提供されるそうです。この他にも様々な事業が行われていますのでサイト（「G & M文化財団」で検索）をご覧ください。（札幌義宣）

■ クリスマスセレブレーション 〈キリスト福音〉



ハレルヤ！ 主の御名を賛美いたします。2024年12月14日の土曜日に滋賀県大津市にある日本フィンランド学校においてクリスマス集会を持ちました。これは主に地域住民に対する伝道的なイベントで90人ほどが集いました。当日はクリスマス賛美と聖書朗読と祈りをもって始まり、その後、レフトサーリ麻衣姉によるコンサートがありました。参加者は軽食をいただきながら葦笛による演奏を聞きました。また音楽の時間の後に吉田啓示先生のメッセージがあり、参加者はキリストの福音を聞きました。今回の集会では特別にズームによる中継もフィンランドの教会と繋がられており、参加者は雪景色のフィンランドの様子を見てフィンランド語によるクリスマスキャロルに聞き入っていました。キャンドルサービスやプレゼント交換もあり、とても祝福された集会になったことを報告させていただきます。

（山科キリスト福音教会 レフトサーリ神之助）

■ K B I

いつもお祈りをもってK B Iを支えてくださり感謝いたします。

あっという間に1年が過ぎ、K B Iは只今新年度に向けて準備中です。2025年度3週間コースのテーマは「見よ、すべてが新しく」（Ⅱコリント5：17）になりました。十字架と復活という恵みの源泉にもう一度立ち返ろうという願いです。今年は4月にイースターを迎えることもあり、コース受講者たちと復活の恵みを大いに味わう時になればと思っています。

2024年度の新入生は例年より少なく、4名で1年生（本科）がスタートしました。そして学生達と1年生が加えられるよう特に祈りました。祈りは聞かれて3週間コースから6名の延長者が与えられて結局1年生は10名になりました。ハレルヤ！ 毎年のことですが、新入生（収穫のための働き人）のために祈られます。皆さまにもお祈りに覚えていただけたら感謝です。（関西聖書学院 高橋めぐみ）

教会紹介 町田純福音教会 東京都町田市中町 1-9-21

あなたの教会の年間聖句は何ですか？

2025年の教会の年間聖句は「万軍の主の熱心がこれを成し遂げる」です。(イザヤ書 9章7節)

伝道は何に力を入れていますか？

「聖書を開こう会」日曜日の9時、水曜日の17時30分より開催

「みんなで祈ろう会」木曜日の16時30分より開催

「Friday Fun Night」(英語を楽しく学ぶ会)金曜日の19時より開催

これらのプログラムを通して、イエス様の素晴らしさを、そして教会の魅力を伝えております。

教会形成では何に力を入れていますか？

1. 和気あいあい、楽しい教会形成を目指し、積極的に礼拝に参加集まりを目指しています。
2. いろいろなプログラムを通して、教会員の霊的な成長に力を入れています。
3. 近隣の皆様としっかりとコミュニケーションをとりながら地域教会の責任をはたしていきます。

(小川祐司)



働き人情報

■ 訃報

- 2024年11月3日 ヤーッコ・ロム元宣教師召天(1963年～ 山科、京都等で奉仕)
- 2024年11月30日 ライラ・オルソン元宣教師召天(1969年～ 保土ヶ谷、御殿場で奉仕)
- 北広島自由キリスト教会 2025年1月14日 円山茂治牧師召天 93歳(1976年～ 北海道で奉仕)

教会情報

■ FCMF

○ 敦賀自由キリスト教会 60周年記念特別礼拝・コンサート

日程：4月20日(日)

講師：小山大三師、ゴスペルシンガー 向日かおり氏

■ キリスト福音

○ 教会の認定

2025年1月14日「京都ネットチャーチ」(牧師：タネリ&梨絵・シニヴィルタ師)をキリスト福音教会の教会と認定。

○ 長老執事訓練コース

日程：2月11日(火・祝) 会場：日本フィンランド学校

テーマ：『エホバの証人』—キリスト教会はどう向き合うか—

講師：ジャン・ドウゲン師

○ キリスト福音教会 恵風聖会

日程：2月24日(月・祝) 会場：日本フィンランド学校

講師：後藤利明師(京都シオンの丘キリスト教会主任牧師)

■ イースト

○ チャレンジキャンプ

日程：3月26日(水)～28日(金)

会場：御殿場純福音キリスト教会&東山荘

講師：福野貴嗣師(南大阪福音教会牧師)

第61回 T P K F 大会

テーマ：最後まで走り抜け～Finishing Well～(ヘブル12:1)

日程：2025年4月28日(月)～30日(水)

講師：デイビッド・ワング師

Finishing Well ミニストリーズ代表、元ハガイ・インスティテュート学院長

会場：福井県民ホール

福井県福井市手寄1丁目4-1(AOSSA:アオッサ8階)

事務局連絡先：tpkf.taikai.jimu@gmail.com(山本)

参加費：全参加3,000円 / 1日参加各1,000円

※22歳以下無料(学生、社会人問わず)

※宿泊は各自予約

申込み締切り：2025年3月17日(月)

※詳細は案内書、TPKF ホームページをご覧ください。

単立ペンテコステ教会フェローシップ諸教会

北広島自由キリスト教会 / 平川めぐみ教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
 横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター
 保土ヶ谷純福音教会 神の愛チャペル / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター
 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会 / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
 甲府カルバリ純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会 グレイスチャーチ
 いのちのパンの家 湘南 / 小松ベタニヤ福音教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / ファンキョウゴスペルセンター
 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国) / 武生自由キリスト教会
 グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会 三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレイスチャーチ / 本地ヶ原自由キリスト教会
 瀬戸サレム教会 / グレイスインクライスト教会 (大阪キリスト福音教会名古屋伝道所) / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会
 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
 甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 京都ネットチャーチ
 大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / LifeShare Christian Center / 南さつまキリスト福音教会

私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が1部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org

TPKFの公式ホームページ <https://tpkf.org/>

